

平成30年度  
事業報告書

公益社団法人新潟県社会福祉士会

公益法人会計上の区分	法人
------------	----

### ◆平成30年度の活動評価

- 各事業運営、各委員会活動については、公益法人としての責務を自覚するなか業務執行理事を中心として精力的に取り組み、概ね30年度計画どおり実施することができた。
- 組織の基盤である会員については、86名(他県からの所属変更4名を含む)が入会し、36名(他県への所属変更1名を含む)が退会した。50名の増加は、過去5年間の年間増加人数の平均20名を大きく上回るものであった。次年度も今年度実施した現会員からの紹介キャンペーンなど入会促進活動を実施し会員の拡大に努め基盤の強化を図っていきたい。
- 新潟県医療ソーシャルワーカー協会および新潟県精神保健福祉士協会とは、ソーシャルワーカーデーイベントの合同開催、長寿延伸フォーラムにおける共同ブースの設置のほか、初めての取組として合同研修を実施した。これからも発展的な活動へつなげられるよう努めていきたい。
- 改正社会福祉法に基づいて地域福祉計画の策定又は改定等が市町村において着実に実施できるよう、新たな記載事項のうち権利擁護に関する項目について重点的に記載した「改正社会福祉法に基づく市町村地域福祉計画策定のすすめ」を関係団体の協力のもと策定した。新潟県を通じて各市町村へ配布するとともに、当会が実施する研修会等の資料として使用を予定している。地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進に活用してもらえばありがたい。

### (1)活動内容

- 各事業の実施
- 会員管理 平成31年3月31日現在 正会員 1,222名（入会86名、退会36名）賛助会員 1名、準会員 13名

### (2)定例会議等

活動内容(名称)	開催日	備考
会員総会	平成30年6月16日	燕三条地場産業振興センター
理事会	平成30年5月16日 平成30年8月17日 平成30年11月16日 平成31年2月22日	新潟ユニゾンプラザ
内部役員会	平成30年4月27日（スカイプ） 平成30年8月1日（スカイプ） 平成30年10月26日（スカイプ） 平成31年2月5日（スカイプ） 平成31年3月13日（スカイプ）	会事務局
監査（29年度）	平成30年5月11日 平成30年5月14日	会事務局
関東甲信越ブロック社会福祉士会連絡協議会	①平成30年6月16日 ②平成31年2月16日	①鉄鋼会館（東京都中央区） ②山梨県甲府市

(3) その他の活動

内容	実施状況
会員拡大に係る広報活動（入会促進活動）	1. 紹介キャンペーン利用新規入会者：12名 2. 会員予備登録制度（学生向け）：12名 3. 研修等でのパンフレット配布
自主活動支援	平成30年度利用登録（助成金利用）：5グループ

(4) 委員派遣等

内容	実施状況
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会評議員	星井勝博会長を推薦
社会福祉法人新潟市社会福祉協議会評議員	丸山徑世理事を推薦
公益社団法人新潟県介護福祉士会理事	星井勝博会長を推薦
一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会理事	渡辺陽一副会長を推薦
一般社団法人新潟県介護支援専門員協会理事	池内明会員を推薦
一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会理事	田崎基理事を推薦
新潟県福祉サービス第三者評価推進委員会委員	松山茂樹会員を推薦
新潟県社会福祉審議会委員	小山弓子理事を推薦
新潟県いじめ防止対策等に関する委員会委員	武井恒美会員、三浦修会員、山田淳子会員を推薦
上越市いじめ問題再調査委員会委員	武井恒美会員を推薦
上越市地域包括支援センター運営協議会委員	桑原正史会員を推薦
佐渡市地域包括ケア会議委員	北見里奈会員を推薦
長岡市認知症施策推進委員会委員	遠藤真一理事を推薦
長岡市地域包括ケア推進協議会委員	小坂井佑介会員を推薦
新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会	代議員として星井勝博会長、幹事として立川和彥理事を推薦
新潟県福祉サービス運営適正化委員会委員	相田岳人会員を推薦
新潟県福祉人材センター運営委員会委員	星井勝博会長を推薦
新潟県介護人材確保対策会議委員	星井勝博会長を推薦
新潟県介護人材確保対策会議 資質向上・処遇改善部会委員	和田健治会員を推薦
新潟県日常生活自立支援事業契約締結審査会	松山茂樹会員を推薦
新潟市日常生活自立支援事業契約締結審査会	松山茂樹会員を推薦
新潟市障がい程度区分認定等審査会委員	廣瀬哲也会員、市川宏昭会員、東海林織枝会員、清水佳愛会員、高橋保江会員、藤石義則会員を推薦
公益社団法人日本社会福祉士会 地域包括ケア推進委員会委員	高橋是司会員、佐藤正枝会員を推薦
公益社団法人日本社会福祉士会 生涯研修センター企画・運営委員会委員	高野八千代会員を推薦
上越市老人ホーム入所判定委員会委員	岩野幸子会員を推薦
長岡市介護保険施設等事業者選定委員会	梨本光枝会員を推薦

新潟市日常生活自立支援事業関係機関連絡会議 メンバーリスト	和田健治会員を推薦
新潟市病院事業運営審議会委員	小山弓子理事を推薦
新潟県自立支援協議会権利擁護部会委員	安藤清彦会員を推薦
新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援 部会人材育成チーム	中村真治会員を推薦
新潟県人権教育・啓発推進施策基本指針の見直しに 係る懇談会委員	星井勝博会長を推薦
新潟市精神医療審査会委員	久根内恵子会員を推薦
ソーシャルワーカー専門職3団体連携 (当会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、 新潟県精神福祉士協会)	①今後の連携に向けて役員、事務局による意見交換会を実施(4月16日、7月8日、11月5日) ②生活保護基準額の引き下げに係る影響緩和への取組を求める陳情書を3団体会長連名で新潟県議会、新潟市議会、長岡市議会、上越市議会へ提出
新潟県民医療推進協議会(健康寿命延伸に かかる多職種協働推進委員会)	2018年11月4日 新潟ユニゾンプラザにてフォーラム開催 ソーシャルワーカー専門職3団体で共同ブース出展(担当:法人研修班)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	成年後見・権利擁護事業(ばあとなあ研修等事業、成年後見人養成研修事業)
担当部署等	事業活動部(権利擁護センター「ばあとなあ新潟」)

#### ◆平成30年度の活動評価

30年度も従来通り、会員支援のための研修会の実施や、行政や関係機関のニーズに応じた支援を行ってきたところであるが、更なる後見ニーズへの対応と、会員支援の取り組みとして、新たにゼロイチアクションというシステムを、新潟地区に限定し試行的に実施した。その効果としては、未知数な部分もあるが、実施を望む地区も多く、今後、全県に普及していくための、検証を進めていく必要がある。

成年後見制度利用促進については、県や県社協と、三士会を含めた協議を継続的に行なってきたが、今後とも継続して実施し、地域包括ケアシステムの構築に寄与していく必要がある。

上記を踏まえ、次年度は、成年後見人材育成研修の実施を行う予定である、

#### (1)主たる活動

ばあとなあ会員登録者数	324名、うち名簿登録者255名(平成31年3月31日時点)
受任件数	825件(内訳:法定後見813件、任意後見12件)(平成31年3月31日時点)
平成30年度新規受任依頼受付	255件(平成31年3月31日時点。うち、推薦217件、断り25件、取下5件、調整中8件)

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	備考
業務監査委員会	5月10日	新潟ユニゾンプラザ
運営委員会(全体委員会)	7月28日	新潟ユニゾンプラザ
運営委員会(本部委員会)	4月14日、6月17日、10月27日、3月10日	事務局
日本社会福祉士会「ばあとなあ」担当者会議	5月26日～27日	林委員参加
ばあとなあ関東甲信越ブロック連絡会	10月13日	渡辺理事参加

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
実務者研修	①12月8日 ②12月9日	①12名 ②7名	①研究・研修センター長岡 ②新潟ユニゾンプラザ
ばあとなあ新潟全体会	7月28日	48名	新潟ユニゾンプラザ
初任者研修	11月18日	名簿登録者2名、養成研修修了者1名	新潟ユニゾンプラザ
地区研修(新潟)	①6月23日 ②9月21日 ③12月22日	①27名 ②20名 ③25名	新潟ユニゾンプラザ

地区研修(下越)	①6月2日 ②9月8日 ③11月25日 ④2月16日	①9名 ②5名 ③6名 ④7名	①ほっとHOT・中条 ②新発田ボランティアセンター ③新発田市カルチャーセンター ④新発田ボランティアセンター
地区研修(中越)	①6月30日 ②8月26日 ③12月15日 ④2月16日	①20名 ②18名 ③24名 ④17名(うち非会員1名)	①②③④長岡市さいわいプラザ
地区研修(上越)	①6月9日 ②9月15日 ③12月1日 ④3月9日	①11名 ②11名 ③10名 ④17名	①②③④上越市市民プラザ
地区研修(魚沼)	①6月9日 ②8月4日 ③10月20日 ④12月1日	①8名 ②7名 ③7名 ④12名	①サンクロス十日町 ②小出ボランティアセンター ③④南魚沼市役所
地区研修(佐渡)	①6月27日 ②9月22日 ③12月1日 ④3月2日	①11名 ②17名(うち非会員8名) ③12名 ④8名	①新穂愛宕の園 ②③金井コミュニティーセンター ④新穂愛宕の園
成年後見関連専門職合同研修	7月28日	99名	新潟ユニゾンプラザ

#### (4) その他活動 (※講師等派遣)

##### <研修講師派遣>

- ・佐渡市社会福祉協議会「市民後見人フォローアップ研修」8月30日 池 知子会員
- ・佐渡市社会福祉協議会「市民後見人養成講座」10月25日 川原 晴夫会員
- ・長岡福祉協会「事業所内部研修(成年後見制度)」1月28日 小林克太郎委員

##### <委員等派遣>

- ・新潟市社会福祉協議会「成年後見制度推進ネットワーク会議」竹田一光委員
- ・新潟市社会福祉協議会「新潟市成年後見支援センター運営委員会」梨本光枝監事
- ・新潟市社会福祉協議会「法人後見運営審査会」梨本光枝監事
- ・村上市社会福祉協議会「法人後見運営委員会」渡邊豊委員
- ・新潟市社会福祉協議会「法人後見事業運営委員会」渡邊 直子会員
- ・長岡市社会福祉協議会「成年後見事業運営委員会」小林克太郎委員
- ・魚沼市社会福祉協議会「法人後見事業運営委員会」枝村英一会員
- ・南魚沼市社会福祉協議会「法人後見事業運営委員会」高野八千代委員
- ・三条市社会福祉協議会「法人後見運営委員会」田崎基理事
- ・刈羽村社会福祉協議会「法人後見運営委員会」渡辺信也理事
- ・高田西城会 認知症疾患医療センター「認知症医療連携協議会」清水知美委員
- ・新潟県社会福祉協議会「成年後見制度推進連絡会議」渡辺信也理事、清水知美委員、山田一郎委員、竹前亮太郎委員、竹田一光委員
- ・高田西城会 認知症疾患医療センター「若年性認知症支援ネットワーク会議」清水知美委員

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	高齢者虐待対応事業
担当部署等	事業活動部（虐待対応委員会）

#### ◆平成30年度の活動評価

##### 1. 高齢者虐待対応に関する取り組みについて

例年に引き続き、新潟県からの受託事業「新潟県高齢者権利擁護相談支援事業」で高齢者虐待対応専門職チームを運用し、市町村及び地域包括支援センターが行う高齢者権利擁護対応への後方支援を行った。平成30年度から事業メニューを見直し、アセスメントシートによる個別ケース相談への対応、電話相談のほか、市町村又は包括が実施する事例検討会への助言者派遣、市町村又は包括が地域で開催する研修の企画へのアドバイザー派遣などを新たなメニューとして追加し、活用いただいた。

##### 2. 障害者虐待対応に関する取り組みについて

障害者虐待防止に関する三士会(弁護士会、精神保健福祉士協会、社会福祉士会)意見交換会は2か月に1回のペースで開催した。この意見交換会の議論から、①平成30年9月6日、障害者虐待防止対策支援専門委員の活用に関する県障害福祉課長への提案・要望の申し入れを行った。その結果、僅少な時間ながらも平成30年度新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修の一角を担うことができた。②また新潟県弁護士会を窓口とした「障害者虐待対応専門職チーム」を三士会で設置。平成30年12月から平成31年3月末まで試行事業として実施したが、派遣依頼の実績はなかった。

#### (1)主たる活動

高齢者虐待対応に関する活動 (平成31年3月31日時点)	市町村および地域包括支援センターにおける高齢者の権利擁護対応への後方支援（※新潟県弁護士会と当会による高齢者虐待対応専門職チームによる相談対応、「新潟県高齢者権利擁護相談支援事業」として実施）	
	①アセスメントシートによる相談	4 件
	対応内訳	●検討部会の開催 4 回
		●チーム派遣 3 回
		●来所相談 1 回
		●電話での回答 0 回
障害者虐待対応に関する活動	②電話相談	7 件
	③事例検討会の実施支援	3 件
	④研修企画へのアドバイス	1 件
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県障害者虐待防止対策支援専門委員の推薦(宮越亮、渡辺陽一、小野正人)</li> <li>●障がい者虐待防止に関する三士会(弁護士・精神保健福祉士・社会福祉士)の意見交換会(4月26日、6月18日、10月24日、12月18日、2月14日)</li> </ul>	

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
運営委員会	4月13日	事務局
高齢者虐待対応専門職チーム運営協議会	7月12日、11月26日	新潟ユニゾンプラザ

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修	9月6日、7日、17日 (3日間)	市町村・地域包括支援センターの高齢者虐待対応担当者、専門職チーム員 35名	燕三条地場産業振興センター、新潟ユニゾンプラザ

(4)その他活動

<講師派遣>
・新潟県福祉保健部高齢福祉保健課「平成30年度新潟県地域包括支援センター職員等研修(第1回)」5月22日 宮下美知子委員
・新潟市秋葉区地域包括支援センター合同「平成30年度秋葉区内地域包括支援センター合同企画学集会」7月12日 佐藤正枝委員
・特別養護老人ホーム聖籠まごころの里「職員研修(身体拘束廃止・虐待防止)」6月29日 宮下美知子委員
・十日町地域振興局「在宅向け高齢者虐待防止研修会」 10月15日 宮下美知子委員
・新潟県福祉保健部障害福祉課「平成30年度新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修」11月20日 宮越亮副会長
・三条地域振興局「平成30年度高齢者虐待防止研修会」 2月19日 佐藤正枝委員・磯部亘弁護士
・新潟市地域包括支援センター大江山・横越「圈域勉強会」 1月15日 宮下美知子委員
・上越地域振興局「平成30年度高齢者虐待防止研修会」 1月18日 佐藤正枝委員
・南魚沼地域振興局「平成30年度高齢者虐待防止実践研修」 3月15日 峰嶋直美委員
・新潟市地域包括支援センター西川「にしかわ・ねっとミーティング勉強会」 3月22日 峰嶋直美委員

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	地域密着型サービス外部評価事業 福祉サービス第三者評価事業
担当部署等	事業活動部(外部評価機関「あいエイド新潟」)

### ◆平成30年度の活動評価

地域密着型サービス外部評価は、例年とほぼ同じく54件を実施した。評価調査員は福祉現場等で経験豊富な調査員が多く、事業所の福祉サービスの質の向上に留意した外部評価を実施することができた。全国的な課題でもあるが、当該事業の評価基準が更新されないため、評価機関として効果的な外部評価手法について継続的に探究していきたい。

福祉サービス第三者評価は11件を実施した。国のガイドラインの変更等があり、事前提出資料の見直しや利用者調査手法について来年度、検討・改善していきたい。

また、第三者評価を実施している中で事業所の職員が、自己の組織や福祉サービスへの認識や課題意識が高まることで、自ら改善に向けた取組を行うなど当該事業所の職員への研修効果を確認している。その経験から第三者評価基準を用いた「自己評価研修会」を実施している。来年度も継続して実施していきたい。

#### (1)主たる活動

##### <地域密着型サービス外部評価実施>

平成30年度 認知症グループホーム評価実施 54件（※訪問調査は7月からスタート）

##### <福祉サービス第三者評価>(平成31年3月末時点)

契約済み・実施中	障害	しぶみ園、愛らんど新穂
評価確定	高齢	こじの里(ユニット特養、デイサービス、訪問介護 ※29年度開始)
	障害	かなやの里ワークス、しぶみ工房、みのわの里療護園、北さくら工房、あさひばら
	保育所	京ヶ瀬こども園(※幼保連携型認定こども園)、にしやま保育園、ふたば保育園、さくら保育園
	社会的養護	ふじみ苑(母子生活支援施設)

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
あいエイド新潟運営委員会	4月14日、9月1日	事務局

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
福祉サービス第三者評価基準を活用した自己評価研修会	7月12日	福祉施設、保育所の役職員、福祉サービス第三者評価調査者 54名	新潟ユニゾンプラザ
福祉サービス第三者評価基準を活用した自己評価研修(出前講座)	①6月23日 ②12月1日	①塩沢金城わかば児童館 ②敬愛こども園	申込事業所

地域密着型サービス外部評価調査員勉強会	5月19日	地域密着型サービス外部評価調査員	新潟ユニゾンプラザ
第三者評価調査者実務研修「第三者評価における評価報告書作成のポイント」	9月1日	福祉サービス第三者評価調査者 12名	新潟ユニゾンプラザ

(4)その他活動

<研修等への参加派遣>

- ・全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会「研修会」6月24日 田崎基理事
- ・全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会[利用者向け評価結果トライアル版実施説明会]10月28日 田崎理事
- ・新潟県「新潟県福祉サービス第三者評価に係る評価機関との意見交換会」11月30日 田崎理事・事務局(畠山)

<講師等派遣>

- ・(福)長岡三古老人福祉会「認知症対応型サービス事業管理者研修」 2月15日 田崎理事
- ・新潟県「福祉サービス第三者評価事業者説明会」 10月10日(長岡)田崎理事、10月12日(上越)山田淳子委員
- ・全社協「平成30年度福祉サービス第三者評価事業『更新時研修』」 1月20日(盛岡)2月16日(名古屋)田崎理事、2月6日(東京)2月9日(岡山)田崎理事・一ノ瀬里絵子委員

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(福祉的な支援を必要とする矯正施設の退所予定者の社会復帰の支援を行う事業)
事業内容	地域生活定着促進
担当部署等	事業活動部(新潟県地域生活定着支援センター)

#### ◆平成30年度の活動評価

##### 『個々のケースへの支援力向上』

- ・相談員一人ひとりの強みを生かし、多角的な視点でケースを捉え、社会資源を活用しながら業務を実施した。

##### 『ネットワーク構築』

- ・個々のケースを通して、関係機関とネットワークの構築を図った。特に司法分野と福祉分野の関係者をつなげることを意識的に実施した。
- ・新潟刑務所、新潟保護観察所との連携を深めるために特別調整実務者定例会議を主催し、円滑な業務遂行のための協議を実施した。
- ・対象者協議会の内容を見直し、関係者が対象者の協議だけではなく、センターの運営上の課題の共有や協議ができる場とした。

##### 『広報活動・啓発活動』

- ・センターの事業の理解や受け入れ先の開拓のため、講師依頼だけではなく、センターの主催、共催での研修や勉強会を積極的に実施した。(具体的な内容はセンターの事業説明、事例検討、受け入れ施設からの事例報告など)

#### (1)活動内容

##### 1. コーディネート業務

本年度依頼受付件数 15 (3) (うち一般調整)  
                                   (10) (うち県内帰住)

支援継続件数	保護観察所からの依頼	他県センターからの依頼	計 (うち一般調整)
	8 (3)	0	8 (3)

支援終了件数	矯正施設から退所し受入先に帰住	他センターへの依頼	その他(支援辞退など)	計 (うち一般調整)
	6 (1)	7	4	17 (1)

##### 2. フォローアップ業務(コーディネート実施後のフォローアップ)

支援継続中	終了件数
13	9

##### 3. 相談支援業務(矯正施設を退所した本人や関係者からの相談対応)

開設時からの継続件数	今年度開始	終了件数	支援継続中
0	42	34	8

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
対象者協議会	10月22日	新潟刑務所
連絡調整会議	6月28日、7月28日、9月13日、10月12日、12月10日、12月20日、2月26日	新潟刑務所
特別調整定例実務者会議	5月31日	新潟刑務所
全国地域生活定着支援センター協議会総会	6月22日	航空会館(東京)
全定協関東ブロックセンター長会議	6月15日、9月14日、12月13日、3月27日	さいたま保護観察所

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
巡回勉強会	5月31日 7月2日 7月5日 8月17日 8月21日 10月29日、11月9日 10月30日、11月28日 11月20日 12月12日 12月13日 1月25日	各団体職員	豊栄福祉交流センタークローバー 魚野の家 ドリームカレッジ 松鴻の園 新潟市北区社会福祉協議会 パラシューント 緑風園 西区生活保護課 包括支援センター NPO法人あんしん 燕市社会福祉協議会

(4)その他活動

<研修参加>

- ・社会内処遇を考える(4/7)
- ・障害福祉関係施設長会議(6/8)
- ・新潟市自立支援協議会中央区ケース会議(6/13、7/27、1/9、3/13)
- ・新潟市自立支援協議会会議(8/8、11/14、3/13)
- ・新任保護司研修(10/1、11/15)
- ・公的扶助研修(10/19、10/20、12/22)
- ・東京矯正管区(11/20)
- ・全定協スキルアップ研修(11/29～30)
- ・阿賀野市(12/1)
- ・弁護士会(12/1、3/16)
- ・のぞみの園(8/27、12/5～7、2/14)
- ・長岡市民公開講座(12/15)
- ・関東ブロック研修(12/18～19)
- ・検察庁(1/15)
- ・薬物依存公開授業(2/7)
- ・弁護士と一緒に仕事をするために(2/16)
- ・人材育成交流・実地研修(2/6、2/18・19)
- ・高次脳機能障害相談支援センター－ケース検討会(5/1、3/1)
- ・研究発表セミナー(3/3)
- ・WISC-IV子ども発達勉強会(3/3)
- ・暮らしのルールブック(3/4)
- ・SWのための気づきの事例検討会(3/17,18)

<その他活動>

- ・ソトセック(4/1、4/15、4/29、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8、7/22、8/5、8/19、9/2、9/16、9/30、11/18、1/6)
- ・社会を明るくする運動委員会(5/8)
- ・新潟市中央区自立支援協議会(5/9)
- ・はばたきネット(5/28、8/27、11/26、2/25)
- ・身寄りがないなど生活に困難を抱える方への支援(事例発表)(6/16)
- ・関東甲信越ブロック研修打ち合わせ(6/15、8/24、10/26)
- ・新潟フォーラム会議(6/19、11/19)
- ・新潟市相談支援連絡会(6/27、11/15、,2/28)
- ・新潟県薬物事犯等地域支援連絡協議会(6/28、2/27)
- ・ソーシャルワーカーデイ(7/8)
- ・佐渡フォーラム(7/14、7/15)
- ・新潟市地域包括支援センター現任研修(8/28)
- ・ハンドブック(8/31、9/18、9/19、10/18)
- ・フォレンゾニック看護学会(9/1、9/2)
- ・ギャンブル研究事業(10/3)
- ・少年学院運動会(10/4)
- ・依存症問題に関する研究事業(10/9)
- ・地域福祉フォーラム(10/13)
- ・老齢看護(10/16)
- ・市知連(10/26)
- ・司法福祉制度研修(10/31、11/1、12/16)
- ・医療に関する協議会(新潟刑務所)(11/8)
- ・高齢者支援班研修(11/16)
- ・新潟フォーラム(12/8～9)
- ・神奈川医療少年院閉院式(1/10)
- ・少年学院成人式(1/18)
- ・事例研究発表会(1/31)
- ・障害者就業支援ネットワーク会議(2/22)
- ・セカンドチャンス記念シンポジウム(2/23)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉士の専門性を高めるための事業(基礎研修、階層別研修等)
担当部署等	生涯研修センター

◆平成30年度の活動評価

生涯研修制度基礎課程の全課程を実施した。前年度をもって基礎研修Ⅱ・Ⅲの集合研修におけるDVD講義を終了し、全科目で講師による講義に変更した。また、基礎研修Ⅱ・Ⅲについては、出席できない日がある受講者に対しては、他県(長野県、群馬県等)で振替受講ができるよう配慮するとともに、他県から受講生の受け入れを行った。

前年度、基礎研修受講者を対象に実施したアンケート調査の結果に基づき、1日3科目あった集合研修の日程を2日間に分けて実施したり、会場を一部変更するなど、受講生の利便性に配慮し実施したが、円滑に実施することができた。

(1)主たる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
生涯研修センター運営委員会	5月13日、11月25日、1月12日	事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
基礎研修Ⅰ (集合研修2日間+課題レポート)	(集合研修) 8月26日、1月19日	社会福祉士 受講者 44名	燕市老人集会センター
基礎研修Ⅱ (集合研修9日間+課題レポート)	(集合研修) 5月12日、5月13 日、6月10日、7月 15日、8月19日、9 月8日、11月10日、 11月11日、12月8 日、12月9日、1月 12日	基礎研修Ⅰ修了者 受講者 35名	燕市老人集会センター、 新潟ユニゾンプラザ
基礎研修Ⅲ (集合研修10日間+課題レポート)	(集合研修) 5月27日、6月24 日、7月22日、8月 25日、9月22日、10 月27日、11月24 日、11月25日、12 月22日、1月27日、 2月23日	基礎研修Ⅱ修了者 受講者 27名	燕市老人集会センター、 新潟ユニゾンプラザ

(4)その他活動

<日本社会福祉士会主催研修、会議への参加派遣>

- ・全国生涯研修委員会議 9月21日～22日 渡辺陽一副会長
- ・基礎研修講師養成研修 11月23日 伊藤裕輔委員
- ・甲信越社会福祉士会連携会議(生涯研修部門) 12月1日～2日 渡辺陽一副会長、稻田泰紀委員
- <講師派遣等>
- ・NHO全国児童指導員協議会関東信越支部「研修:職業倫理について」 9月1日 渡辺陽一副会長

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	企画部(法人研修班)

#### ◆平成30年度の活動評価

①当班が企画実施した研修全体を通じ、社会福祉士の資質向上を図り、地域にその「専門性」を普及・提供・還元する一助になれたと評価している。「相談援助スキルアップセミナー」を始め、過去の研修参加状況や研修内容などを精査し、会員の声を反映することで他分野からの参加率を向上させることができている。

②新潟県医療ソーシャルワーカー協会(MSW協会)、新潟県精神保健福祉士協会(PSW協会)と合同で開催する「ソーシャルワーカーデー」は、回を重ねるごとに、社会福祉士養成校に通う学生の他、社会福祉に興味関心を持つ学生らにとって有意義なイベントとして定着している。また、MSW協会・PSW協会と合同でブース出展してきた新潟県民医療推進協議会「健康寿命延伸フォーラム」は今年度から当班が担当した。当日は天候が優れず、フォーラム全体として参加者数が低迷した。しかし、アンケートによると、健康寿命延伸への関心を持ち、行動するきっかけとなったといい、参加職能団体と成果を共有出来た。

③総会時全体研修では、上述にもあるように、MSW協会・PSW協会と合同で身寄りなし問題をフォーカスした。弁護士の協力を得、3つの福祉専門職の立場から課題を提起し、グループワークにより意見と情報交換を行ったが、会場は圧倒されるほどボルテージが上がっていた。

④しゃべり場(若手の交流会)は、リピーターや口コミなどで、参加者の職種や年齢に広がりが見えている。

⑤上記の③にもある通り、会員の声やアンケート結果を反映させた研修会を企画運営することで、会員にとって魅力ある会の運営に近づけたと評価している。

#### (1)主たる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
法人研修班運営委員会	4月21日、5月1日、6月5日、7月12日、8月22日	事務局(スカイプ活用)
ソーシャルワーカーデー企画会議 (MSW協会、PSW協会合同)	5月19日、6月23日、9月1日、10月6日、12月15日	新潟ユニゾンプラザ

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
全体研修(ソーシャルワーカー3団体合同研修) 「身寄りがないなど生活に困難を抱える方への支援 ～司法との接点から考える～」	6月16日	ソーシャルワーカー3団体会員、福 祉関係者等 153名	燕三条地場産業振興センター
ソーシャルワーカーデー㏌いがた2018	7月8日	学生、現役ソーシャルワーカー、一 般県民等 参加者 206名(学生 145名、SW他61名)	新潟ユニゾンプラザ
福祉関係者のための成年後見活用講座 (入門編)	【新潟】5月30日 【県央】6月20日	【新潟】67名 【県央】76名	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産業振興センター
福祉関係者のための成年後見活用講座 (ステップアップ編)	【新潟】10月23日 【県央】10月9日	【新潟】55名 【県央】37名	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産業振興センター
相談援助スキルアップセミナー 「モニタリングを考える」	12月11日	56名	新潟ユニゾンプラザ
真剣！若手のしゃべり場！	①7月14日 ②11月10日 ③3月9日	①7名 ②10名 ③6名	①新潟市アグリパーク ②アンクルペペ ③沿垂テラス商店街 kado

#### (4)その他活動

・会員交流会開催(6月16日)  
・新潟県民医療推進協議会主催「健康寿命延伸フォーラム」(11月4日)にMSW協会・PSW協会と合同ブース出展(丸山径世理事が本フォーラム副実行委員長として参画)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業 社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	企画部(災害支援班)

#### ◆平成30年度の活動評価

災害支援に関する活動については、まず第1に、新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会における県内の活動支援者の推薦依頼があり、当会から新たに2名の推薦を行った。今回新たに2名の追加となり、新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への当会から推薦した活動支援者は計7名となった。今後も活動支援者の推薦は継続して行っていくと共に、当会の推薦者の中から1名を新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会における研修企画メンバーとして活動していただく予定となっている。

第2に、第2回目の災害支援活動者養成研修(※認定社会福祉士の研修単位認証研修)を開催。第1回目の研修会の反省を基に、参加形態を単位取得者と単位不取得者での参加を可能にしたことにより、前回を上回る方々に参加を頂いた。今後はより多くの方々に参加していただけるように、研修単位認証に特化しない災害支援に関する研修会を開催していく予定。第3に関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連絡会議へ継続的に参加。今後も会議への参加は継続し、連携を深めていく予定。

#### (1)主たる活動

下記(2)参照

#### (2)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
災害支援活動者養成研修 (※認定社会福祉士認証研修)	2019年2月28日、3月17日	21名(うち、認定区分14名)	新潟ユニゾンプラザ

#### (3)その他活動

<日本社会福祉士会関係の研修、会議への参加派遣>

・関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連絡会議:5月26日／長野県、11月24日／山梨県（立川理事）

<その他>

・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会:幹事会5月31日（立川理事）

・新潟県災害リハビリテーション連絡協議会:11月17日～18日研修会参加（立川理事、本多博樹委員、藤川成康委員）

・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会「災害福祉チーム員研修会」:11月29日～30日 ファシリテーターとして五十嵐巧会員参加

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(高齢者支援班)

#### ◆平成30年度の活動評価

- ・全体研修会「地域力を活かす施設づくり・人づくり」については他団体等の研修が集中する時期の開催となってしまい、参加者がかなり少なかった。一方で高齢者分野の社会福祉士だけでなく他分野の社会福祉士、社会福祉士以外の参加もあった。参加費を当日徴収したが当日キャンセルが数名あった。開催時期や運営面で熟考が必要。次年度は参加者のターゲットをしづらる、地域での先進的な取り組みの実践報告を交えた内容にするなどの工夫をしていく。
- ・認定社会福祉士の研修単位認証研修「地域の力を育もう！支援者のためのネットワーク実践力養成研修」については参加者は少なめではあったが名称を工夫したためか地域包括支援センター職員以外の参加者も多かった。高齢分野での認証を受けた研修として次年度も継続開催する。
- ・「各地区での勉強会」については各委員が地域のネットワークを生かした企画で開催することができた。次年度も地域の実情に応じたテーマ・目的で開催する。

#### (1)主たる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
高齢者支援班運営委員会	1月12日	新潟ユニゾンプラザ
ネットワーク実践力養成研修班作業部会	6月2日	事務局
全体研修班作業部会	4月22日、7月18日	事務局、燕三条地場産業振興センター

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
全体研修会「地域力を活かす施設づくり・人づくり」	9月29日	24名	燕三条地場産業振興センター
地域の力を育もう！支援者のためのネットワーク実践力養成研修 (※認定社会福祉士認証研修)	7月5日～6日 11月20日	福祉関係者 21名	新潟ユニゾンプラザ
各地区での勉強会	【新潟】11月16日 【下越】2月16日 【県央】12月8日 【中越】3月2日 【上越】3月9日 【魚沼】3月9日 【佐渡】3月21日	【新潟】25名(うち会員20名) 【下越】32名(うち会員16名) 【県央】22名(うち会員20名) 【中越】31名(うち会員25名) 【上越】20名(うち会員15名) 【魚沼】18名(うち会員14名) 【佐渡】18名(うち会員6名)	【新潟】新潟刑務所 【下越】新発田ボランティアセンター 【県央】燕三条地場産業振興センター 【中越】長岡赤十字病院 【上越】上越市春日謙信交流館 【魚沼】十日町市市民交流センター 【佐渡】新穂愛宕の園

#### (4)その他活動

##### 《講師等推薦》

- ・新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会人材育成チーム構成員：中村真治委員
- ・長岡市地域包括ケア推進協議会委員：小坂井佑介委員

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(障害者支援班)

◆平成30年度の活動評価

今年度は、昨年度一年間をかけて検討を行い、認定社会福祉士認証研修の認証を得た、「障害者の生活支援研修」を実施することができた。受講方法を認定社会福祉士を目指す人だけでなく、障害福祉等の支援者にも開いた研修にして、30名を超える参加者を得ることができた。

実施の中で、受講者からの要望や、内容で検討すべき点なども出てきたことから、さらに検討を行い、来年度より充実した研修として実施を予定したい。

(1)主たる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
障害者支援班運営委員会	9月29日、1月12日	事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
障害者の生活支援研修～その人らしい人生をどう支援するか～ (※認定社会福祉士認証研修)	平成31年1月24日 (木)～1月25日 (金)	1日目34名／2日目26名 (うち、認定区分での受講は12名)	新潟ユニゾンプラザ

(4)その他活動

<講師等派遣>

<研修等参加派遣>

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(生活・更生保護、児童・家庭支援班)

#### ◆平成30年度の活動評価

生活支援班は、班の発足以来「貧困」をテーマに、包括的な視点で研修等を展開してきた。今年度は、年度計画として、『現場』に出向き、実際に自分の目で、耳で学ぼうということを軸に、座学研修も構成した。実際に、児童養護施設と障がい者就労支援施設等に見学研修に出向き、現場で様々な学びを得ることができた。参加者は、他種別多職種であることがこの班活動の特徴であるが、一人の人が利用するサービス種別は他分野に渡ることも多々あり、また、狭間にあって支援の手が届かないという課題ということもこの班で扱われるところであるため、参加者自身の視野が広がったり、理解が深まったりしたのではないかと思う。

また、平成29年度にワーキングチームでプログラムを検討してきた司法に関する研修について、30年度に認定社会福祉士研修単位として認証を受け、「支援者のための司法制度研修」として実施した。3日間のプログラムで各日の参加者が37名～47名、うち認定区分での修了者が14名と、ますますの参加者を得た。刑事司法に関する基礎的知識や、犯罪予防から出所後の支援におけるソーシャルワークの視点、服役から出所までの間の各機関の関わり、高齢者や障害者が特殊詐欺や性被害などにあってしまった場合の支援制度や手続きなどの専門的知識を学ぶとともに、架空事例を用いた演習を通じて必要な視点や支援を確認する機会となつた。ソーシャルワーカーが司法について学ぶ基本的研修として今後も継続的な開催を検討する。

#### (1)主たる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
生活支援班運営委員会	4月29日、7月29日、10月8日、12月6日	事務局
司法福祉研修ワーキングチーム会議	7月27日、8月9日、10月2日、2月4日	事務局

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
研修会「今そこにある貧困」	6月22日	20名 (会員14名、非会員3名、その他3名)	新潟ユニゾンプラザ
研修会「女性の貧困と性風俗」 (にいがた公的扶助研究会と共催)	9月29日	76名 (会員33名 非会員43名)	新潟市総合福祉会館
研修会「さあ！現場へ！」	12月6日	会員11名	障害者就労支援事業所「ドリーム」 児童養護施設「若草寮」
研修会「ひきこもり支援に行き詰まる支援者のために」	2月23日	32名 (会員21名 非会員11名)	新潟青陵大学
支援者のための司法制度研修～福祉ニーズのある対象者が加害者や被害者になつたら～ (※認定社会福祉士認証研修)	10月31日、11月1日、12月16日（3日間）	61名	新潟ユニゾンプラザ

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(人材育成・スーパービジョン支援班)

#### ◆平成30年度の活動評価

今年度は、隔年開催としている社会福祉士実習指導者講習を開催したが、定員100名のところ申込者数が定員を大幅に超過したため、急きよ定員増の対応をし、申込者全員を受け入れた。施設・事業所の実習受入れ、社会福祉士養成の意欲が高まっており、今後もニーズを踏まえた対応をしていきたい。

社会福祉士実習指導者フォローアップ研修は、「施設・事業所と養成校、ともにつくる社会福祉士実習」をテーマに開催し、養成校の事前指導の実際を報告いただくとともに、実習生受入れにあたってのやりとりについて議論した。養成校各校の教員と実習指導者との情報交換や交流の機会としても貴重であり、今後も機会を設けていきたい。

SV(スーパービジョン)の活動への支援として仮マッチングを引き続き行なった。スーパーバイザーの人数が限られており、幅広くSVの機会を確保していくためにもスーパーバイザーを増やすための働きかけが今後は必要だと考えている。

#### (1)主たる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
人材育成・SV班運営委員会	5月22日、1月17日	事務局

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
社会福祉士実習指導者講習会	6月29日～30日	会員 54名 非会員 105名	燕三条地場産業振興センター
社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	3月1日	会員 25名 非会員 16名	新潟ユニゾンプラザ

#### (4)その他活動

<スーパービジョン支援>

・仮マッチング 6件

・スーパーバイザー意見交換会 8月26日

<その他>

・新潟県ソーシャルワーク現場実習等養成校連絡会 8月3日 事務局・畠山出席

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	福祉社会を担う人材を養成する事業(国家試験対策講座、統一模擬試験)
担当委員会等	事務局 (各養成校担当教員と連携)

#### ◆平成30年度の活動評価

社会福祉士の育成を支援する事業として「社会福祉士国家試験対策講座」および「社会福祉士全国統一模擬試験」を実施した。

①「社会福祉士国家試験対策講座」の受講者および模擬試験受験者は、それぞれ76名、75名で、目標の60名を上回った。またアンケート結果から各科目の時間配分、日数、開催時期については「良い」との評価であった。講義内容についてもほぼ全科目にわたり「参考になった」との評価であった。アンケート結果については講師にも開示し、次年度の講座に反映させたい。

②「社会福祉士全国統一模擬試験」は、273名の参加を得た。。

#### (1)主たる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
全国統一模擬試験打ち合わせ	模擬試験実施要領を試験監督者に送付し、役割について確認してもらう(会議開催せず)	

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	開催場所	参加対象・人数
第31回社会福祉士国家試験受験対策講座	講義5日間 (7月28日、8月25日、9月22日、10月13日、11月4日) 模擬試験(11月18日)	新潟ユニゾンプラザ	社会福祉士国家試験受験予定者 講義76名、摸試75名
第31回社会福祉士全国統一模擬試験	10月21日	新潟ユニゾンプラザ	社会福祉士国家試験受験予定者 273名 (一般 29名、学生 244名)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業（社会福祉の増進に寄与する事業）
事業内容	相談支援
担当部署等	事務局

#### ◆平成30年度の活動評価

##### 1. 復興支援員設置業務

福島県から委託された事業で、同県の県外駐在員と共に、避難世帯を戸別訪問し、世帯の状況および課題を把握して、その課題を解決するため関係機関との連絡調整を行った。

##### 2. 避難者住宅確保・移転サポート業務

福島県から委託された業務で、避難指示が解除された区域等からの避難世帯のうち、応急仮設住宅の供与期間終了後の新たな住宅確保の目途が立っていない世帯に対し、新たな住宅への移行が円滑に進むよう相談支援を行った。

#### (1) 活動内容

活動内容(名称)	活動状況
復興支援員設置業務	・戸別訪問数 432世帯(面談 141世帯、不在 231世帯、退去済 21世帯、再訪問 47世帯)
避難者住宅確保・移転サポート業務	・電話相談件数 8 件 ・訪問相談件数 4 件

#### (2) その他活動

- ・支援団体が企画する交流会、説明会への協力
- ・福島県主催の研修会への参加(7月20日郡山市、11月19日東京都)

公益法人会計上の事業区分	その他事業
事業内容	調査研究事業
担当部署等	広報部

#### ◆平成30年度の活動評価

2018年8月に実践報告集「新潟社会福祉士 第17号」を発刊することができた。実践報告集を毎年編纂・発刊できることに、執筆を引き受けてくださった会員に感謝が尽きない。しかし年々原稿数が少なくなってしまい、ボリュームの回復を目指して広報委員会は現在も第18号の編纂作業を行っている。

また研修会も多くなり、事務局だよりでは会員に速やかな情報提供が担えたと評価している。

パンフレットも見直してみたが、作成したタイミングが良かったのか、その内容が現在の活動に即しており、現時点での修正は無いと評価した。今後も定期的に見直しを行っていく。

#### (1)主たる活動

##### ①社会福祉士実践報告集発行

「新潟社会福祉士第17号」の発刊(平成30年8月発刊、10月に会員へ送付)

「新潟社会福祉士第18号」(2019年8月発刊予定)の企画・編集作業

##### ②事務局だよりの発行

第1号:4月1日、第2号:5月25日、第3号:7月20日、第4号:8月30日、第5号:10月15日

第6号:12月10日、第7号:1月20日、第8号:3月15日

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
広報委員会	5月12日、7月14日、8月18日、9月15日、10月13日、11月10日、12月8日、2月9日	事務局またはスカイプ

公益法人会計上の事業区分	その他事業
事業内容	日本社会福祉士会への支援・連携

◆平成30年度の活動評価

日本社会福祉士会からの要請に応じて各委員会や会議に委員を派遣するとともに、業務委託をうけた基礎研修を実施するなど連携強化に努めた。
---

(1)活動内容

- ① 委員会委員の派遣
  - ・地域包括ケア推進委員会 高橋是司会員、佐藤正枝会員
  - ・生涯研修センター企画・運営委員会 高野八千代会員
- ② 権利擁護に関する業務支援
  - ・ぱあとなあ概況調査協力
  - ・法人後見事業に関する調査協力
- ③ 研修業務の受託
  - ・基礎研修 I ~ III
- ④その他
  - ・新・会員管理システム説明会参加 10月6日(畠山)、10月25日(高野)
  - ・全会員を対象としたソーシャルワーク機能に関する調査協力(事務局により、ホームページ等で会員へ協力呼びかけ)